

広島市感染症週報

広島市感染症対策協議会・広島市感染症情報センター

■コメント

1 感染性胃腸炎

定点当たり11.00人の報告があり、多い状況が続いています。こまめな手洗い、便・吐物の適切な処理など、感染予防対策を徹底しましょう。

2 感染性胃腸炎(ロタウイルス)

定点当たり1.33人の報告があり、増加傾向です。こまめな手洗い、便・吐物の適切な処理など、感染予防対策を徹底しましょう。

3 百日咳

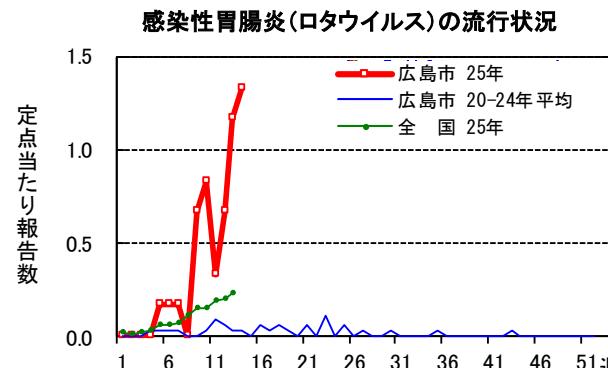
10人の報告があり、今年の累計は58件と増加傾向です。

4 新型コロナウイルス感染症(COVID-19)

定点当たり1.38人の報告がありました。引き続き、基本的な感染予防対策を心がけましょう。

■定点把握感染症報告状況(週報対象)

定点種別	疾患名	報告数	定点当たり	平均過去5年間	発生記号
小児科	インフルエンザ	12	0.35	2.18	
	新型コロナ(COVID-19)	47	1.38		□
	RSウイルス感染症	16	0.73	0.26	△
	咽頭結膜熱	3	0.14	0.24	
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	37	1.68	1.02	△
	感染性胃腸炎	242	11.00	3.35	□
	水痘	2	0.09	0.16	
	手足口病	-	-	0.14	
	伝染性紅斑	6	0.27	0.05	
	突発性発しん	5	0.23	0.22	



感染性胃腸炎(ロタウイルス)の流行状況

■急増減

↑

↓

1:2以上の増減

■増減

↑

↓

1:1.5~2の増減

■微増減

↑

↓

1:1.1~1.5の増減

■横ばい

ほとんど増減なし

■報告数が少数の場合などは、発生記号を記載していません。

■インフルエンザ/COVID-19定点数(小児科定点を含む)

■小児科定点数

■眼科定点数

■基幹定点数

■(注)過去5年間の同時期平均(定点当たり)

■全数把握感染症報告状況

類型	疾患名	報告数	累計	備考
2	結核	3	31	50歳代・1人、80歳代・2人
4	レジオネラ症	2	5	20歳代、90歳代
5	ウイルス性肝炎	1	1	30歳代・B型
5	急性脳炎	1	3	10歳未満
5	後天性免疫不全症候群	1	2	40歳代・感染者
5	侵襲性肺炎球菌感染症	2	13	60歳代、70歳代
5	水痘(入院例に限る)	1	1	40歳代
5	百日咳	10	58	10歳未満・1人、10歳代・7人、20歳代・1人、60歳代・1人

■定点把握感染症報告状況(週報対象)の推移

		インフルエンザ	COVID-19	RSV	新型Virus	咽頭結膜熱	球菌咽喉炎	A群溶血性レンサ球菌溶血性胃腸炎	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発しん	ヘルパンギーナ	流行性耳下腺炎	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎	細菌性結膜炎	無菌性結膜炎	マイコプラズマ	クラミジア肺炎	(口タウイルス)
報告数	広島市	第10週	36	70	29	3	44	424	-	-	6	6	-	-	-	12	-	-	4	-	5	
		第11週	34	71	32	10	44	363	2	3	8	2	-	-	-	7	-	-	1	-	2	
		第12週	33	61	30	9	54	276	3	-	6	4	-	-	-	7	-	-	6	-	4	
		第13週	9	48	19	10	43	266	3	1	11	1	-	-	-	7	-	-	5	-	7	
		第14週	12	47	16	3	37	242	2	-	6	5	-	-	-	8	-	-	3	-	8	
定点当たり	広島市	第10週	1.00	1.94	1.26	0.13	1.91	18.43	-	-	0.26	0.26	-	-	-	1.50	-	-	0.67	-	0.83	
		第11週	0.94	1.97	1.39	0.43	1.91	15.78	0.09	0.13	0.35	0.09	-	-	-	0.88	-	-	0.17	-	0.33	
		第12週	0.92	1.69	1.30	0.39	2.35	12.00	0.13	-	0.26	0.17	-	-	-	0.88	-	-	1.00	-	0.67	
		第13週	0.25	1.33	0.83	0.43	1.87	11.57	0.13	0.04	0.48	0.04	-	-	-	0.88	-	-	0.83	-	1.17	
		第14週	0.35	1.38	0.73	0.14	1.68	11.00	0.09	-	0.27	0.23	-	-	-	1.00	-	-	0.50	-	1.33	
	全国	第12週	1.98	3.23	1.18	0.26	1.96	9.05	0.31	0.04	0.67	0.18	0.01	0.03	0.08	0.83	0.02	0.03	0.27	0.01	0.20	
		第13週	1.85	2.92	1.02	0.23	1.89	7.95	0.30	0.05	0.82	0.21	0.01	0.04	0.06	0.80	0.03	0.03	0.28	-	0.23	

■新たに判明した病原体検出状況

(検査:広島市衛生研究所)

診断名	主症状	年齢	発症年月日	検査材料	検出病原体
インフルエンザ	発熱(39.4°C) 鼻炎	5	2025/02/04	鼻汁(拭い液)	インフルエンザウイルス(A/H1N1)2009型
流行性角結膜炎	結膜充血 眼脂	47	2025/01/08	結膜擦過物	アデノウイルス54型
流行性角結膜炎	結膜充血 眼脂	7	2025/01/09	結膜擦過物	アデノウイルス54型
流行性角結膜炎	結膜充血 眼脂 流涙	37	2025/01/18	結膜擦過物	アデノウイルス54型
流行性角結膜炎	結膜炎 搓痒感 結膜周擁充血	56	2025/03/02	結膜擦過物	アデノウイルス37型

* 感染症発生動向調査に基づく病原体定点搬入分のみ掲載

■4月7日から急性呼吸器感染症(ARI)サーベイランスが始まりました

感染症法施行規則の一部改正により、急性呼吸器感染症が5類感染症に位置づけられ、令和7年4月7日から定点把握疾患として、急性呼吸器感染症(ARI)サーベイランスが開始されることになりました。急性呼吸器感染症(ARI)サーベイランスは、症例定義(※)に一致する患者数の発生を把握する症候群サーベイランスです。あらかじめ指定された定点医療機関から、患者数の報告や検体の提出が行われます。

※症例定義 咳嗽(せき)、咽頭痛、呼吸困難、鼻汁、鼻閉のいずれか1つ以上の症状を呈し、発症から10日以内の急性的な症状であり、かつ医師が感染症を疑う外来症例

主な目的 ①流行しやすい急性呼吸器感染症の発生動向の把握
②未知の呼吸器感染症が発生し増加し始めた場合の迅速な探知

生活への影響 急性呼吸器感染症が5類感染症に位置づけられたことで、就業制限や登校制限の対象とはなりません。また、診療上の扱いも変わりません。

急性呼吸器感染症(ARI)サーベイランスの開始に伴い、広島市感染症週報は第15週から、報告数等の掲載を開始します。

詳しくはこちらをご覧ください↓

急性呼吸器感染症(ARI)(厚生労働省)

<https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/kenkou/kekakku-kansenshou19/ari.html>

急性呼吸器感染症(ARI)に関するQ&A(厚生労働省)

https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/kenkou/kekakku-kansenshou19/ari_qa.htm



本週報は、速報性を重視していますので、今後調査などの結果に応じて若干の変更が生じることがあります。なお、感染症情報の詳細についてはホームページでご覧いただけます。

<https://www.city.hiroshima.lg.jp/living/eisei/1003071/index.html>

【問い合わせ先】

広島市感染症情報センター/広島市衛生研究所 〒733-8650 広島市西区商工センター四丁目1番2号
TEL (082) 277-6575 FAX (082) 277-5666 E-Mail ei-seikatsu@city.hiroshima.lg.jp